

地域の皆さんと協働の

ライフジャケット必須!

広がる! 釣り人による清掃活動。

ついに 130 人突破!

各地でゴミを拾う釣り人が増加中

地元ボランティア団体、自治体の方も参加

参加者の多くは、滋賀県外から琵琶湖に通う釣り人
淡路島、淀川、三重県、愛知県、東京、滋賀県長浜などで清掃活動をする釣り人も参加

2018/11/25 第15回清掃活動 草津志那湖岸 釣り人 92人+地域の方 38人



第13~16回清掃活動へのご協力ありがとうございます: 河川財団、国土交通省、滋賀県、草津市、大津市、近江鉄道ゆうグループ、大津市公園緑地協会、雑貨屋アミダ、草津湖岸コハクチョウを愛する会、NPO法人瀬田川リパブレ隊、琵琶湖河川レンジャー、TANAKAMI こども環境クラブ、水辺に学ぶネットワーク、国土交通省ウォーターステーション琵琶、琵琶湖遊漁船業協会、その他釣り業界の皆様

2018/4/15 第13回清掃活動 唐橋公園 42人 雨天決行



ミツカン水の文化センター機関誌『水の文化』釣りの美学特集に掲載 (本パネル下部にQRコード掲載)

2018/5/26 第14回清掃活動 草津志那湖岸 82人



ルアー回収用の装備でパーベキューコンロもすくいあげる

深まる! 理解。

釣り人の本気。

2018/7/1 「びわ湖の日」瀬田町漁協さんと協働、環境学習

清掃後、漁師さんの講義を受講し、漁船で瀬田川を案内していただきました



2018/8/26 びわ湖会議で「釣り人から見たびわ湖」について発表
昨冬のかつてないほどの低水温、大型ブルーギルの激減などびわ湖の変化を共有



ご協力: 琵琶湖環境科学研究センター佐藤さん、琵琶湖遊漁船業協会のガイドの皆様

2018/11/25 第52回
「こんにちは! 三日月です」
三日月知事と意見交換。

琵琶湖の魅力、清掃活動の課題や成果、釣り人が果たす役割について議論しました



雨にも、冬の寒さにも、水の冷たさにもマケズ。

2019/1/20 第16回清掃活動 唐橋公園 45人 雨天決行



ウェーダー(胴長)を着て、水中のゴミも拾う

強まる! 絆。

他の環境団体や自治体の方と清掃活動やフォーラムを通じてつながり、イベントにご招待いただき清掃活動について発表させていただきました



NPO法人近畿水の塾 様主催「河川塾」



NPO法人瀬田川リパブレ隊 様主催「河川を愛する市民会議」

極まる! 琵琶湖愛!

琵琶湖を好きな人が増えれば、守る人も増える。親水活動、ライフジャケット、マナー啓蒙の取り組み

2018/7/22 「水辺の匠」 出展

ルアーの色ぬりと瀬田川で釣り体験



ご協力: グローブライド株式会社、株式会社デブス、株式会社ジャッカル、ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社、エムワイス、パスフィールド

2018/12/8 琵琶湖博物館で「親水活動における安全啓蒙と推進」

ワークショップを開催。釣り具とライフジャケットの体験



ご協力: 国土交通省ウォーターステーション琵琶、琵琶湖遊漁船業協会



SINCE 2015.12

主に県外から琵琶湖を訪れる釣り人が「琵琶湖・瀬田川への恩返し」をテーマに地域の皆さんと協働の水辺の清掃活動、親水活動、ライフジャケット着用とマナー啓蒙などに取り組んでいます。

ロゴマークは唐橋がモチーフ。「地域と、自然と、次世代につながる」カッコイイ釣り人が目標です。

<https://oumi-fishing.com>

ミツカン水の文化センター機関誌『水の文化』で「ゴミを拾う釣り人たち」としてご紹介いただきました。

PDF版をダウンロードしてぜひご覧ください→

<http://www.mizu.gr.jp/kikanshi/>



未来へ...

2019年はセブン-イレブン記念財団、滋賀県、国土交通省と連携
滋賀県で「セブンの森」の活動に取り組みます

この活動は公益財団法人 河川財団の河川基金の助成を受けています

